

岡山・鳥取両県情報ハイウェイの相互接続について

岡山情報ハイウェイと鳥取情報ハイウェイは、これまでそれぞれが独立したネットワークとして運用していましたが、このたび、国土交通省が道路管理用に整備した光ファイバを利用（両県がそれぞれ賃借）して相互接続しました。

1 相互接続の意義

県域を越えた高速の通信が可能となり、両県による広域連携が促進される。

2 相互接続の時期

平成19年9月18日（火）

3 相互接続により期待される利活用例

- (1) 両県がそれぞれ構築していた情報システムの共同利用
- (2) 両県の情報関係の企業が両県相互の取引先等の企業に対して情報サービスの提供
- (3) 両県の企業間（本支店間等）での高速通信

4 利用方法等

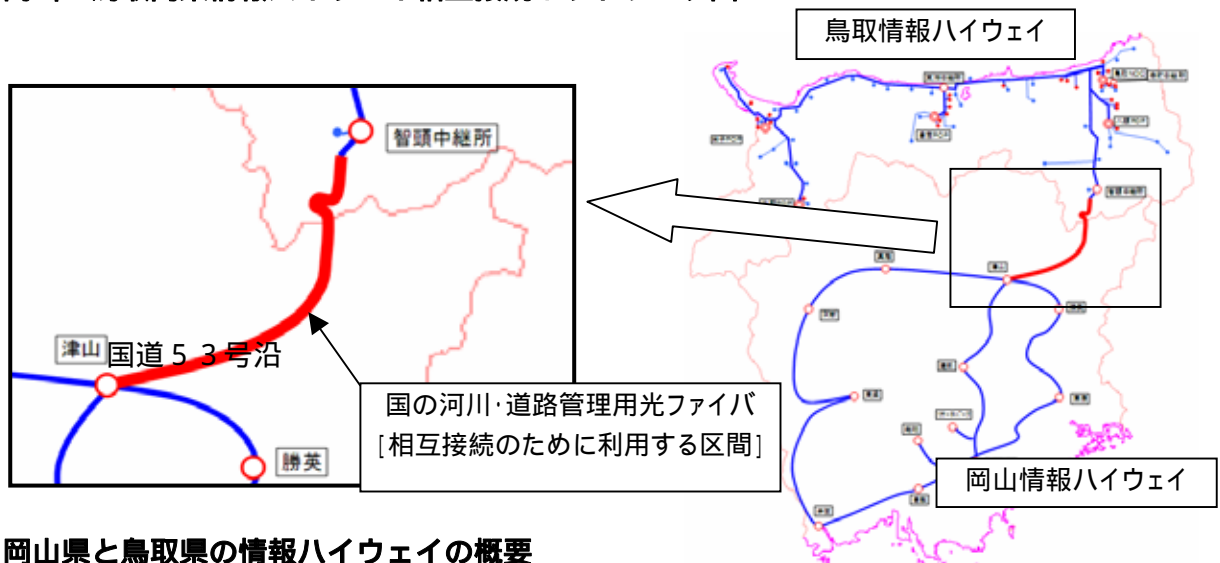
- (1) 利用方法 現行の「岡山情報ハイウェイ接続要綱」による
- (2) 料金 通信にかかる料金は無料

5 提供サービス

広域イーササービス（津山 - 智頭中継所間の伝送速度は1 G b p s）

<参考>

1 岡山・鳥取両県情報ハイウェイ相互接続ネットワーク図



2 岡山県と鳥取県の情報ハイウェイの概要

区 分	岡 山 県	鳥 取 県
整備費用(百万円)【整備期間】	約 3,000【H10～12・15年度】	2,337【H13～15年度】
供用開始日	H13年3月	H16年4月
光ファイバ延長(km)	450	223
接続数	2,000超 (行政機関、教育機関、民間企業)	362 (行政機関、教育機関、民間企業)
通信費用	無償	無償